

Q 町の財政運営における基本方針について



&

いい だ まさ よし
飯 田 正 義 (文責)

A 地方債は交付税措置を重視し無駄な借入を避け、基金は安全運用で利益確保を図る



地方債の償還方式について

質問 地方債の現在の総額と返済方式について

答弁 地方債残高は約75億円
で年間8億円返済予定。
定時償還方式を採用し半年元
金均等償還で資金計画を立て
やすくしている。町民1人当
たりの地方債残高は約95万円
となっている。

質問 町民1人当たり95万円
の地方債残高の適切性
について

答弁 必要な資金を適切に確
保し確実に返済できる
方法で進めており、現状は適
切な取り組みができていますと
考えている。他の地域との比
較はそれぞれの状況が異なる。

基金運用の効率化について

質問 基金の規模と運用方法
の基本的内容について

答弁 基金残高は26億円で令
和7年5月末時点の運
用状況は、基金総額のうち定
期預金が6億円、債券が9億
円で運用中。令和4年から一
括運用を導入し効率化を図っ
ている。安全性を最優先に運
用方針を決定している。

質問 債券運用による現状の
含み損について

答弁 含み損が発生している
可能性はあるが満期ま
で保有すれば損失にならない。
途中解約は考えていない。長
期保有により安定的な運用益
を確保する方針。

質問 基金運用に関する収益
と利率について

答弁 令和6年運用収益は3
80万円。利率は0.1%

基金戦略と繰上償還の合理性について

質問 基金積立と借入金返済
の最適バランスについ
て

答弁 繰上償還には保証金支
払いが必要で保証金免
除がない限りメリットはない。
交付税措置を重視し無駄な借
入を避けている。将来の財政
負担軽減を重視している。

質問 金利情勢を踏まえた繰
上償還の検討について

答弁 繰上償還時は運用利益
担保が求められる条件が
付く場合がある。湯沢町でも
平成中期に一括償還事例が
あった。交付税措置対象以外
の借入を避ける方針を徹底し
ている。

質問 基金運
用状況
の公開と成果
指標設定につ
いて

答弁 現在は
広報誌
で基金残高を
周知している。



広報ゆざわ (2025.3.23 発行)



湯沢町ホームページ (財政)

運用状況の追加公開や分かり
やすい周知方法を今後検討し
ていきたい。